🕮 図書館だより Y ぶらりー 🕮 横浜商業高等学校 2024年度 第2号

夏日と言われる日が早くも続く今年は、８月頃にはどうなるのでしょう。そろそろ夏休みの計画を立てなくてはと、ときやど吉宮晴紀『ときを感じるお宿図鑑』(291 ヨ) を手に取りました。江戸時代から昭和の初め頃までに建てられた数十軒の歴史ある宿を、味わい深い手書きのコメントのついた、独特な断面パースのイラストと、写真を織り交ぜて紹介している本です。いまどきのホテルも素敵ですが、こんな「ときを感じる」素朴な建物で心地よい時間を過ごすことができたら、きっと良い夏になりそうな予感がします。　　司　書

🕮　Y校の先生の本　🕮

国際学科の選択授業、韓国語のクラスのホ・ユンギョン先生が、株式会社ジャパンタイムズ出版より、２冊の韓国語を学ぶための本を出されました。





『韓国語を韓国語で理解する 韓韓韓単語』(829 ソ)は、よく使う 800 単語について、韓国語での説明やその語句を使った例文があり、赤いフィルターで隠すことのできる日本語訳も記載されています。発音の表記がないかわりに、ダウンロードした音声アプリに本のタイトルを入力すると、耳から学ぶこともできます。

『クイズでわかる韓国語単語の使い分け』(829 ソ) は、似ている単語の使い分けがクイズ形式でわかりやすく解説されています。例文や練習問題も多く、こちらも耳からしっかり学べる音声ガイドつきです。

ホ・ユンギョン先生より、素敵なコメントもいただきました。

안녕하세요？ アンニョンハセヨ？ 韓国語を教えているホ･ユンギョンです。

このように本を紹介することがとても嬉しいです。私は日本に来てもう 20 年になります。
韓国では教師とは全く違う仕事をしていました。その仕事をやめてイタリアに留学に行ったときも、日本で暮らすことになるとは一度も考えたことはありませんでした。しかし、日本に来て韓国語を教える仕事を始めて、再び机に向かって勉強を始めるととても面白かったです。
たくさんの人に出会い、いろんな場所に行きました。この本もその結果ですね。

皆さんにもこれからどのような未来が広がるか楽しみですね。
良い機会が訪れたとき、それに気づいて、機会を活かすために、今、楽しいと思うことに頑張ってください！

もし韓国が好きで韓国語に興味がある方はいつでも声をかけてくださいね。
韓国語を学ぶことで、新しい友達ができたり、韓国の文化をもっと深く理解できたりします。
楽しく学びながら、皆さんの未来に新しい可能性を広げていってくださいね！

🕮　第70回　青少年読書感想文コンクール　🕮



今年の**読書感想文の課題図書**が発表されました。課題図書や、お気に入りの本の感想を文章にしてみませんか。 **締め切り日**は**夏休み明け**にお知らせします。

課題図書の中の　伊与原新『宙わたる教室』（913.6 イ）は、前回「部活動を楽しもう」のコーナーで紹介した本です。Y 校の自然科学部の活動に合わせて紹介しましたが、理系の生徒だけでなく、定時制高校という舞台で織りなす物語は、違う学校の生活を覗いているようで楽しく読めると思います。

ファン・ヨンミ『優等生サバイバル：青春を生き抜く１３の法則』（929 フ）は、韓国の高校生は受験が大変とは聞いたことがありましたが、これほどとは、と驚きの内容でした。Y 校生の高校生活とはちょっと違うけれど、それでも同じ年ごろの子の話には、きっと共感できるところがあり過ぎるほどで、読み終わるのが残念なくらいの一冊になると思います。

若きサファリガイドの女性が書いた、太田ゆか『私の職場はサバンナです！』（482 オ）を読むと、その行動力に圧倒されます。危険と隣り合わせのサファリガイドの仕事を、さまざまな動物たちの生態を通じて記しています。読後には、少し視野が広くなっていそうな気がします。

課題図書だけでなく、どんな本の感想でもかまいません。齋藤孝『だれでも書ける 最高の読書感想文』（B816 サ）には読書感想文を書くときの心構えから、ちょっとしたコツまで載っており、これを読むだけで本当に良い読書感想文が書ける気がします。まずはこちらを手にして、読書感想文に挑戦してみてください。

読書感想文コンクールのサイトにある紹介文も引用します。本の内容と見どころ、課題図書への選定の理由も参考にして、本を選んでください。

〇伊与原新『宙わたる教室』（913.6 イ）

「もう一度学校に通いたい」と定時制高校に集った生徒達。
科学部を結成し、実験を通して一つになっていく――ドラマチックな青春科学小説！

【みどころ】

定時制高校に集った、さまざまな事情を抱えた生徒たち。彼らは「科学部」を結成し、「火星のクレーター」を再現する実験を始めた――夜の教室で起こった奇跡の化学反応が胸を打つ、共感度 100％の物語です。

【選定理由】

定時制高校の実話が、高校生には意外性をもって受け止められる。主人公が学びに目覚めるプロセス、かつ科学分野に目を向けていく点に多様な読書感想文が期待できる。

〇ファン・ヨンミ『優等生サバイバル：青春を生き抜く１３の法則』（929 フ）

成績に一喜一憂する日々に、はじめてのホントの恋！　ハードな高校生活を生き抜くために、「優等生」のジュノが見つけた法則とは？

【みどころ】

テスト、課題、進路、そして恋……。１日は 24 時間。やらなきゃいけないこと、考えなきゃいけないことは満載！！　悩み多き日々のなか、ジュノは、将来の準備期間だけではない「今を生きる」法則を見つけていきます。

【選定理由】

日本よりも厳しいといわれる韓国の受験戦争真っただ中の高校生を描き、日本の高校生にも共感をもって、さまざまな読書感想文が寄せられることが考えられる。物語のテンポの良さを評価。

〇太田ゆか『私の職場はサバンナです！』（482 オ）

南アフリカ政府公認のサファリガイドが伝えるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、自然と共生するために大切なこと。

【みどころ】

大好きな動物を守りたい――南アフリカ政府公認・唯一の日本人女性サファリガイドが伝えたい知られざるサバンナの動物たちの生態、環境保護の最前線、人と自然が共生するために大切なこと。

【選定理由】

南アフリカでサファリガイドになる、主人公のアクティブな生き方は高校生には新鮮で、文系・理系問わず読める、楽しく魅力ある作品。生物多様性を考えるきっかけにもなる。



🕮　今月のおすすめ本　🕮

〇 早見 和真『アルプス席の母』（913.6 ハ）

Ｙ校出身のプロ野球選手、ソフトバンクホークスで活躍している笹川くんのニュースが楽しみな毎日です。

また、いつも図書館で朝早くから勉強に励んでいる生徒が、新聞のスポーツ欄に写真入りでコメントを寄せているのを見つけるのも、嬉しい季節です。

今回おすすめするのは、湘南のシニアリーグで活躍した息子が甲子園を目指して大阪の高校へ進学することになり、シングルマザーの菜々子も息子の学校の近くに引っ越し、転職して奮闘する姿を描いた、タイトル通りの野球部のママのお話です。息子と大事な話ができそうでできないところや、息子が寮に入っていくときの寂しさ、息子が活躍したときの隠しきれない嬉しさや、嬉しいけれどレギュラーでない人への何とも言えない申し訳なさ、逆に息子がレギュラーでないときの気持ちの余裕っぷり、父母会での居心地の悪さや、息子がけがをした時のもどかしさ、亡き夫がいたら良い判断ができていたかもしれないという虚しさ、応援してくれる周囲の人のあたたかさ、何よりも息子を応援できるという喜びに満ちた母の気持ちがひしひしと伝わってきます。我が家の子どもたちがやっていたのはサッカーとバスケでしたが、競技は違えど見守る親の気持ちが痛いほどわかり、胸を打つ場面が何度もありました。「応援」をするすべての人に読んでもらいたい本です。

🕮　横浜市立図書館から　🕮

横浜市立図書館から「みんなの読書を語るワークショップ」のお知らせが届きました。小中高生で読書を楽しむことを語り合うという今回の企画では、近い年齢でグループ分けをして、どんなしかけやイベントがあれば、より本を楽しく読めるようになるかを、みんなで考えるそうです。

7 月 28 日は戸塚地区センターにて 10：00 から 11：30 まで、

8 月 3 日は中川西地区センターにて 10：00 から 11：30 まで。



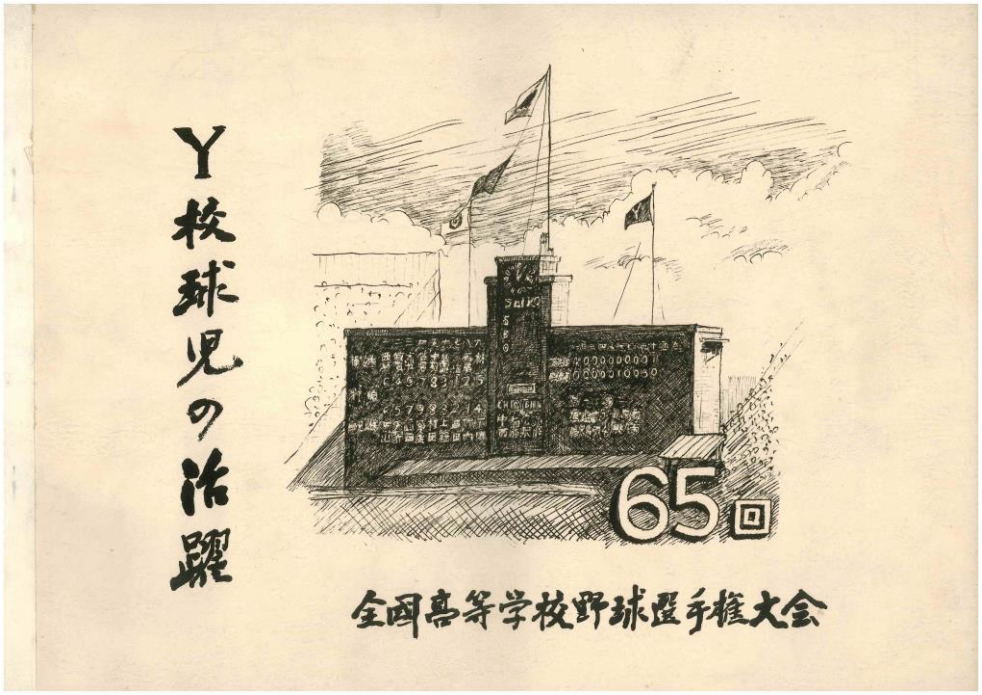
← 読書の現状に関するアンケートへのご協力もお願いします。

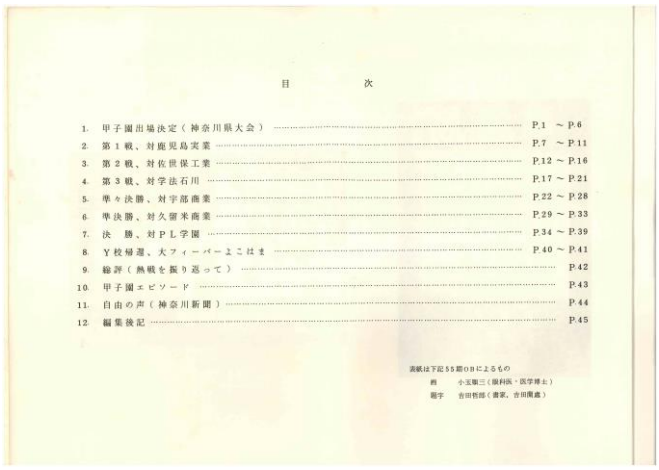
（回答期間　7 月 1 日～8 月 3 日）

Ｙ校アーカイブ　vol. ２５　「 Ｙ校球児の活躍 」

昭和58年（1983年）の第65回全国高等学校野球選手権大会の、新聞の切り抜きをまとめた冊子です。B4版、全45ページで、ホチキス留めしたものに厚手の上質な紙の表紙を付け、背表紙はテープで仕上げています。Ｙ校第55期OB有志で作成したとあります。

この年は春の選抜にも出場して決勝戦で池田高校に敗れ、雪辱を果たすべく乗り込んだ甲子園でした。鹿児島実業、佐世保工業、学法石川、宇部商業、久留米商業と勝ち進み、決勝戦では1年生で出場した桑田･清原擁するPL学園に、清原のホームランによって惜しくも敗れ、準優勝となった足跡が綴られています。鹿児島、長崎、福島、山口、福岡など対戦相手の地域版の新聞も掲載されています。




目　次

1. 甲子園出場決定（神奈川県大会） …… P.1 ～ P.6
2. 第１戦、対鹿児島実業 …… P.7 ～ P.11
3. 第２戦、対佐世保工業 …… P.12 ～ P.16
4. 第３戦、対学法石川 …… P.17 ～ P.21
5. 準々決勝、対宇部商業 …… P.22 ～ P.28
6. 準決勝、対久留米商業 …… P.29 ～ P.33
7. 決　勝、対ＰＬ学園 …… P.34 ～ P.39
8. Ｙ校帰還、大フィーバーまこはま …… P.40 ～ P.41
9. 総評（熱戦を振り返って） …… P.42
10. 甲子園エピソード …… P.43
11. 自由の声（神奈川新聞） …… P.44
12. 編集後記 …… P.45

表紙は下記55期OBによるもの
画　小玉順三（眼科医・医学博士）
題字　吉田哲郎（書家、吉田蘭盧）







